

議事録（概要）

会議名	令和2年度 第1回芦屋町行政改革推進委員会					
会場	芦屋町役場4階 44会議室					
日時	令和2年8月3日(月) 10:00~11:00					
委員の出欠	会長	占部 吉郎	出	委員	安部 知彦	欠
	副会長	片山 和夫	出	委員	国崎 重太	出
	委員	中山 孝泰	出	委員	入江 翔悟	出
	委員	藤崎 隆子	出	委員	中西 一美	出
	委員	執行 明子	出	委員	川上 登美江	出
件名・議題	1. あいさつ 2. 委員の紹介 3. 議事 議題1 「集中改革プラン推進結果（案）について」 ①令和元年度推進結果（案）について ②5年間のまとめ（案）について 4. その他					
合意事項 決定事項	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度会議から委員が2名変更となった。 ・議題1「集中改革プラン推進結果（案）について」事務局から説明を行い、了承された。 					

令和2年度 第1回芦屋町行政改革推進委員会 議事録

日 時 : 令和2年8月3日(月) 10:00~11:00
場 所 : 芦屋町役場4階 44会議室

<議題1 質疑応答および意見>

1	委員	資料1 P3 保育所の民間移譲の推進について 数値目標（緑ヶ丘保育所分）と実績との数値の差について説明してほしい
	事務局	計画を策定した当初は 60,000 千円の削減を見込んでいたが、実際の効果額は 28,000 千円であった。
2	委員	資料1 P17 積極的な町有地の売却について 栗屋に道路拡張のため農地を取得している分について含まれているのか。
	事務局	栗屋の道路拡張のための農地は含まれていない。
3	委員	資料1 P11 町営住宅 管理戸数の縮小について 入居者が残り続ける状態では、将来的にも管理戸数を縮小していくのは難しいのではないか。将来的な展望を聞きたい。
	事務局	現在、「町営住宅長寿命化計画」に基づき管理戸数の縮小を図っている。この計画は令和3年度に見直す予定であり、今後も計画的に管理戸数の縮小を図っていく。
4	委員	資料1 P9 第2次芦屋町地域情報化基本計画の推進について 小中学校へのタブレット端末導入について、詳しく聞きたく。
	事務局	令和元年度現在では、生徒数の 3 分の 1 のタブレット端末を導入している。この 3 分の 1 という数は、地方交付税の交付割合に合わせたものであり、今年度は新型コロナウイルス感染症の関係もあり、担当課では 1 人 1 台の導入を目指し、動いている。
	委員	芦屋町は I C T の導入が遅いのではないか。I C T といった分野は子どもたちの教育においても重要であり、また、I C T を導入することによって教員の負担も減らせると思う。
	事務局	I C T の導入について、他自治体と比較すると、芦屋町は進んでいる状況である。芦屋町では児童・生徒数の 3 分の 1 タブレットを導入しているが、この数を導入している市町村は少ない。また芦屋町では各学校に導入した I C T を活用するため、教員を支援する人材を配置するなど力を入れている。

	委員	児童・生徒数の3分の1タブレットを導入し、どんなふうに運用しているのか。
	事務局	<p>タブレットは、3人につき1台使用するといった運用をしている。なお、遠隔操作のために各家庭に持ち帰って使用するといった運用はしていない。</p> <p>〈補足・担当課に確認した内容〉</p> <p>タブレットは、タブレット活用が有効な授業の際、一番効果的な台数を使用している。そのため、1人で1台使用する場合もあれば、2人で1台、班（5～6人）で1台の場合もある。</p> <p>※現在は、タブレットを共有している状態のため、全ての学年・学級が、全ての授業で常にタブレットを使用しているわけではない。</p>
5	委員	<p>資料 3 P2 9.6.3 がんばれ芦屋町ふるさと応援寄付金の充実について</p> <p>ふるさと応援寄付金の寄付が多く、評価がAAと非常によい。他自治体でも芦屋町のように寄付が多いのか。</p>
	事務局	遠賀郡4町では、岡垣町・水巻町が多い状況である。全国的にも数値は伸びており、ふるさと納税をする人の割合や金額が多くなっているのが影響していると考えられる。

<その他>事務局より連絡

次回会議の開催は8月31日（月）午前10：00（芦屋町役場3階31会議室）